天馬だより

秋号

2020年10月25日　発行
〒057-0171
浦河郡浦河町字西舎124-1
社会福祉法人わらしべ会
浦河わらしべ園
TEL　0146-28-1801
FAX　0146-28-1991

「　この夏のでき事　」

浦河わらしべ園
施設長　上　中　　正　人

８月下旬　我々にはとってショッキングな情報がもたらされた。それは鹿児島県のある障がい者支援施設で数年前から４件ほど利用者に対する施設職員による虐待事案である。その内容は身体的・性的・心理的虐待であり、職員がどうしてそのような行為をしてしまったか、またその管理体制や発覚の経緯など詳細は不明であるが、当該社会福祉法人から報告とお詫びの文書が後日手にいれた。

私は昨年４月より全国身体障害者施設協議会権利擁護会委員として３か月に１回程度会議に参加し（現在はリモート会議）、「障害者福祉施設における障害者虐待防止と対応の手引き」を本年度中の作成に向け準備中でありますが、そのさなかの事であり、九州ブロック委員からの報告ではブロックでの会議や研修にはあまり参加されない施設であり、施設運営の実態もよくわからないといった報告もあったところです。

このことは、昨年春に札幌市で起こった介護者が在宅障がい者に対し暴行のうえ殺人となった事案と類似しており、一支援者の資質の問題だけでなく、支援組織やそれを構成する我々一同が取り組んでいかなければならない重要な課題であります。

特に本年はコロナ禍の影響で家族や第三者が施設になかなか入れない状況や利用者も外出等が制限されるなか、密閉された空間をつくらないような常時の目配りが必要となっています。

そして私どもは利用者が支援者に対し信頼でき不安のない日々を送っていただくような施設づくりに自戒を含めて気を引き締めなければならないと思うのであります。

話題が変わりますが、当園　中庭花壇に７月２０日ごろからハクセキレイが卵を産み、「ひな」が孵り、そして旅立つといった珍しい光景に遭遇でき、写真好きの職員がそれを毎日のように２階テラスからそっと撮影、食堂にその模様を張り出し利用者とともに楽しみました。

一番感動したのは、卵から孵化する瞬間や親から餌を口移しでひなに与える場面があったり、楽しい夏の思い出となり、この自然の当たり前の営み、一生懸命「孵化」に「子育て」に努めている親鳥の姿でありました。この作業が私たちにコロナ禍の今、何かを教えてくれているような気がしてなりませんでした。

桜の葉がすっかり落ち、イチョウの葉も少しずつ黄ばみ、雪虫もその飛ぶ数が増えてきた昨今ですが、私の好きな「駅伝やマラソン」を見ながら、改めてアフターコロナに向け、そしてウィズコロナを考えながら、西舎の里で利用者と職員ともども元気で大晦日を迎えたいと思っています。

追伸
寒い冬もそこまで来ています。皆様ご自愛ください。

わらしべ祭

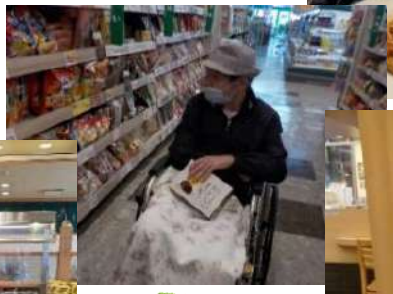
今年は新型コロナウイルスの影響で9月にわらしべ祭が開催されました。当日は天候にも恵まれ中庭で催し物を行いました。
浦河町出身のアットさんが大道芸を披露して頂き目の前で繰り広げられる大技に目を見開いたり、バルーンアートで作られた風船を貰って喜ばれていました。毎年恒例の職員の出し物今年はものまねを行いました。
PUFFYに山口百恵、kinkikids、中島みゆきそして一番大盛り上がりしたのがIkkoのものまねでした(^^♪
昼食は毎年新年会でもお世話になっている優駿ビレッジ　アエルさんにお弁当を作って頂き、デザートではチョコファウンテンや綿あめを目の前で作られるので食べられた方たちに大好評でした(*'ω'*)

秋の特別外出

皆さんが毎年楽しみにされている『秋の特別外出』を、今年もお盆過ぎから実施してきました。例年であれば一泊二日で旅行される方もいらっしゃいますが、今年は新型コロナウィルスの流行があり、場所や日程、人数などを制限し、マスク着用や、手指消毒などの感染予防策をとりながら、日帰りでの外出のみとなりました。

限られた中でしたが、利用者の皆さんそれぞれが食べたいものや買いたいもの、やりたいことなどを考え、楽しみにしながら当日を迎えていました。

当日は皆さん美味しい食事に感嘆の声をあげたり、ご家族と穏やかな一時を過ごしたり、たくさんある洋服にどれが良いか真剣に悩まれたりと、普段の施設内での生活とは違った沢山の表情を見ることができました。



スイカ割り

ボッチャ

高校生と一緒にボッチャを行いました。楽しんでもらえるのか心配でしたが内容を簡単にして行う事でとても賑やかな時間になりました。今年の夏もスイカ割りをしました。秋には焼き芋レクもすることができました。実際にスイカを割ったり、芋を焼く前の作業を一緒に行いました。やってみると皆さんとても器用で上手なので毎回驚かされます。ミノムシ制作でもそれぞれに個性的なミノムシが沢山並びました。

ミノムシ作り

焼きいも

青空喫茶

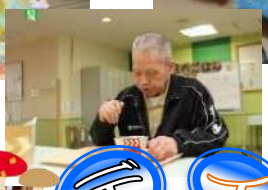
昨年好評だった中庭での午後のひと時に、浦河高校茶道部の皆さんにご協力をお願いし野点を披露して頂きました。風情があり、利用者の皆さんも静かに見入っていました。点てていただいたお茶は利用者さんの好みに合わせてそのまま飲む方もいればミルクで割って飲む方もおり、「とても美味しかった。」との声が多く聞かれました。
来年からも、ぜひ行っていきたいです

秋の交通安全街頭啓発

今年は9月にしては少し暖かい中での街頭啓発に利用者のみなさんが朝も早くから準備して、朝8時00分から30分間程度、園舎前の国道235号沿いに立ち、通過する車両に『交通安全・スピードダウン』を呼びかけました。参加者は行き交う車両に懸命に旗や手作りのポスターなどで交通安全を呼びかけました。

非常食試食会

9月1日防災の日、当園に備蓄している非常食の試食会を行いました。
試食内容は前回好評だった「ビーフカレー」「米（お粥）」今年はさらに「五目御飯」「鳥そぼろ」「みそ汁」など、非常食といえど大変美味しく、園内では色々なメニューを備蓄しています。



デイ通信

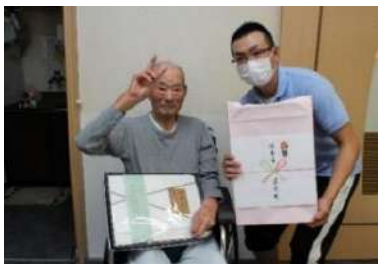
秋の特別外出が通所でも始まりました。今年は近場での日帰り外出をメインに行いました。
主に苫小牧、静内、えりもなど思い思いの場所へ行き、楽しまれていました。
そんな秋が深まる中、通所にて耕していた畑にも夏野菜と秋野菜が毎日実り少しづつ収穫していました。
きゅうりやミニトマトなど豊作な野菜もあれば、ニンジンやジャガイモなどちょっと残念な出来栄えのもあったりと初収穫にしては全体的にボチボチでした。
秋の味覚のかぼちゃを発行日の少し前にみんなで調理し、美味しいかぼちゃ団子を作りました(*'ω'*)

職　員　研　修

春にも行った救命講習ですが、職員がきちんとした知識を持てるよう定期的に人を変え行っております。
感染症対策研修として浦河赤十字病院看護師長を招き、新型コロナウィルス感染症を中心にいろいろな感染について知識を深めました

あめでとうございます！

今年入所利用者でめでたく米寿と喜寿を迎えた方がおりました。
お二人には浦河町より記念品が贈られました。
これからも元気に過ごせるように、支援させていただきます。



ありがとうございました

《 寄　贈 》

・浦河産夏イチゴアイス
　元東京浦河会会長
　池田　俊一　様

・花御前即席みそ汁
　米沢　彰　様

職　員　紹　介

新しく入職しました職員をご紹介します。

事務員・支援員
永沼　孝夫

9月から勤務することになりました。
50歳を過ぎての超オールドルーキーですが、気持ちは新卒です！
早く戦力になれるよう頑張ります！！

お知らせ

社会福祉法人わらしべ会のホームページがリニューアルしました(^^)/
わらしべブログもパワーアップし、今までより多くの日常での出来事をお伝えできるようになりました。天馬だよりではお伝えきれなかったことも載せていますのでぜひ、ご覧ください。下記をURLを直接入力していただくか、QRコードを読み取ってください。
URL：　https://www.warashibe-hokkaido.net/

また、施設紹介としてyoutubeの三幸福祉カレッジさまのチャンネルにて当園施設長と職員のインタビューが見れますのでぜひ、こちらもホームページと合わせてごらんください(*´艸`)
youtubeで「浦河わらしべ園」と検索していただくか下記QRコードを読み取ってください。

youtube→

←ホームページ

生活支援員・准看護師　募集中

年齢・資格不問・未経験者OK（支援員）
詳細について興味のある方ぜひご連絡ください！！
電話番号：0146－28－1801
メール：urakawa-warashibe@deluxe.ocn.ne.jp

あとがき

日ごとに秋も深まる10月。空気が澄みわたり紅葉もとても綺麗で移り変わる四季の様子を感じられます。園の周りを利用者さんとお散歩した時には少し肌寒いなと思いながらも天気が良く自然と会話が盛り上がりました。秋といえば食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋などと言われます。私は食欲の秋！が一番に思い浮かびます。今年も利用者さんと一緒に焼き芋を食べる事ができ秋を感じる事ができました.
地域のイベントや行事など思うようにできず、職員も利用者さんも窮屈な思いをしております。それでも感染対策をしながら日々楽しめる事を考えております。
　寒さが厳しくなり、これからはインフルエンザにも気を付けお過ごしください。
次回は年明け1月に天馬だよりをお届けします。

月間予定表

11月
・寿司バイキング（11日）

12月
・クリスマス会（12日）

1月
・騎馬参拝（2日）
・2021年　新年会